

1 防災備蓄について

ただいまの^{こまがみねゆうり}駒ヶ峯悠吏議員のご質問にお答え申し上げます。

防災備蓄についてであります。本市では、地域防災計画の食料供給計画に基づき、沼田市全体として食料１万２，０００食を目標に備蓄を進めております。現在、乾パン類６，５２０食、お湯や水を加えるとご飯として食べられるアルファ米４，０００食、飲料水としてペットボトル５００ｃｃを２，４００本を備蓄しており、備蓄場所につきましては、災害発生時に迅速・的確に提供できるよう市役所や振興局、公民館など、市内１０箇所の施設に分散して備蓄を行っております。

沼田東中学校に設置しております防災倉庫には、食品類として、アルファ米１５０食、クラッカー８４０食、カロリーメイト１２０食、豚汁６０食、５００ｃｃのペットボトル３３６本の飲料水、粉ミルク１０回分、また、防災資機材として２０人用の救急箱などを配備し、

避難者や災害救助等に従事する方々へ提供できるよう備えております。

次に、備蓄数量が避難者の人数に対して足りるのかについてであります。災害の規模や種類により、避難者の数も大きく異なることから、市民の皆様には、自分の命は自分で守るとの基本的精神のもと、最低3日分の非常食料を家庭内で備蓄していただくよう、啓発活動を行うとともに、備蓄食料等の不足に速やかに対応するため、市内の業者や防災協定を締結している関係機関から、食料の供給を受けられるような対策を実施しております。

以上申し上げます。駒ヶ峯^{こまがみねゆうり}悠吏議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。